



年頭のごあいさつ



議会議長

黒宮 喜四美

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには健康で、希望に満ちた初春を迎えられましたこととお喜び申し上げます。

昨年中は議会活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

アメリカのサブプライムローン問題に端を発した国際金融危機は、わが国の社会・経済にも大きな影響を与え、国・地方共に厳しい財政状況の中、より質の高い自治体運営が求められております。

そうした中、市においては地方分権時代に対応した行財政基盤の強化、CATVなど高度情報通信網の整備、桜小学校のマンモス化に伴う(仮称)第二桜小学校の建設などが急務となっております。さらに本年は、平成30年度を目標にした総合計画がスタートいたします。

市議会としましては、これら地域課題の解決に向けた市民と行政との協働のまちづくりに向け、懸命に取り組んでいく所存であります。

市民の皆さまには一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。

主な内容

- 定例会の審議内容
- 議案質疑・意見書…3～4
- 一般質問(13人)…5～17
- やとみフラッシュ…18

表紙の説明

成人式が1月11日、総合社会教育センターで行われ、最後の昭和生まれ初の平成生まれの485人が新たな門出を祝いました。二十歳になって選挙権を得るのを契機に、市政にも関心を持ってもらえればと思います。

